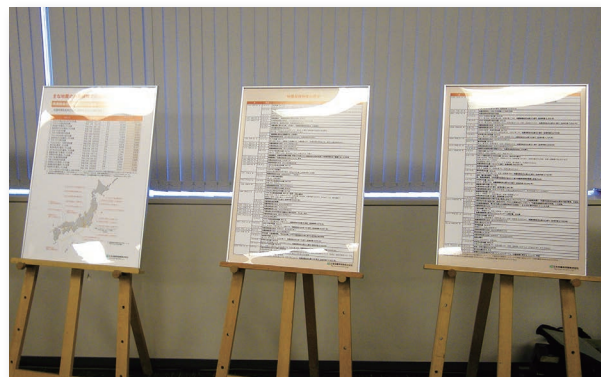


# トピックス

## 第3回 国連防災世界会議パブリックフォーラムの「地震保険フォーラム」への参加

平成27年3月に宮城県仙台市で開催された国連防災世界会議パブリックフォーラムの一般社団法人日本損害保険協会が主催する「地震保険フォーラム」に参加しました。本会議は、会議を通じて仙台・東北の東日本大震災における経験と教訓や防災と復興に関する取組みを国内外に発信することにより、世界の防災の取組みの推進に貢献していくことを目的に開催されました。

当社は、地震再保険のしくみや再保険金支払い実績、地震保険制度の歴史について、会場にてパネル掲示を行ったほか、同内容を冊子として来場者に配布しました。



## 教育機関等への社員の派遣

当社の社員を教育機関等に派遣し、地震保険制度の理解の促進に努めています。平成26年度は9月に慶應義塾大学保険学会にて講演を行いました。わが国の地震保険制度における当社の位置付けや機能について解説した後、東日本大震災において当社が果たした役割について報告しました。

10月には成城大学経営学部の講義に社員を派遣し、保険論を履修している学生に向けて地震保険制度の概要や再保険の仕組み等を図解を交えながら解説しました。

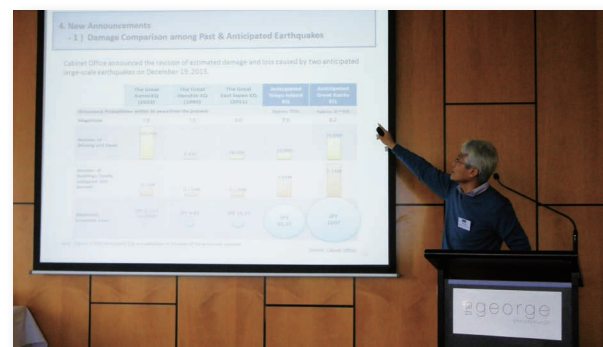
本年度も講師の派遣等を通じて、地震保険制度に関する各種の情報を積極的に発信していきます。



## World Forum of Catastrophe Programs (ワールドフォーラム) への参加

ワールドフォーラムは地震をはじめ、自然災害に対する保険スキームを運営する公的機関が相互の知識共有と情報交換を行う場として15の国と地域の代表で運営されています。第9回大会は平成26年9月にニュージーランドのクライストチャーチ市にて開催されました。同市は平成23年2月22日に発生したカンタベリー地震の被災地であることから、今回は各国制度のプレゼンテーションの他、被災地域やCERA（日本の復興庁に相当）への訪問を通じて、被災状況やその後の復興状況を他の参加国とともに共有できました。当社からは東日本大震災から3年半が経過した現在の状況、財務省の地震保険制度に関するプロジェクトチームのフォローアップ会合の内容や平成26年7月の地震保険料の改定について解説しました。

当社はワールドフォーラムへの参加を通じて、海外にも積極的な情報発信を行っています。



## TREIF Natural Catastrophe Conference (自然災害カンファレンス) への参加

平成26年10月に台湾で開催された台湾住宅地震保険基金 (TREIF) 主催の自然災害カンファレンスにゲストスピーカーとして招かれました。

自然災害カンファレンスは地震保険をはじめ自然災害に対する保険スキームを運営する各国の地震保険関係者、保険会社、監督官庁等が参加しており、当社は日本の地震保険制度の内容や課題について講演を行いました。その後、開催されたパネルディカッションでは、東日本大震災で迅速な保険金支払いが実施できたポイントやグローバルな再保険マーケットを利用しない理由等について、制度の現状を踏まえて解説しております。



## 地震保険制度に関するプロジェクトチーム フォローアップ会合への参加

平成27年2月より「地震保険制度に関するプロジェクトチーム」(PT) のフォローアップ会合が再開され、当社も日本損害保険協会等とともにオブザーバーとして参加しています。

PTは、平成24年4月に財務省に設置され、東日本大震災での経験や得られた教訓を踏まえて地震保険制度の見直すべき点についての検討を行い、同年11月に報告書を公表しました。その後、報告書で整理された課題の取り組み状況を確認するためフォローアップ会合が開催されています。

●財務省ホームページ

[https://www.mof.go.jp/about\\_mof/councils/jisinpt\\_fu/index.html](https://www.mof.go.jp/about_mof/councils/jisinpt_fu/index.html)